

JMS NOTES



「人と医療のあいだに・・・」

第48期 事業のご報告

2012年(平成24年)4月1日～2013年(平成25年)3月31日

JMS

証券コード 7702

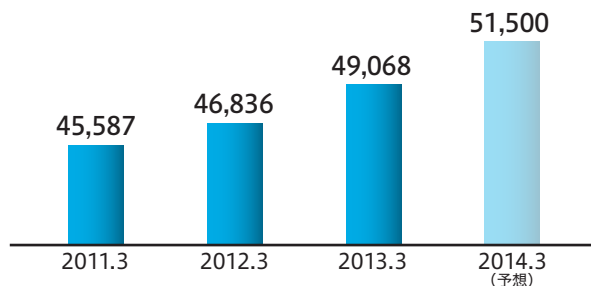
連結財務ハイライト

売上高

490億68百万円

(百万円)

■ 通期 ■ 予想



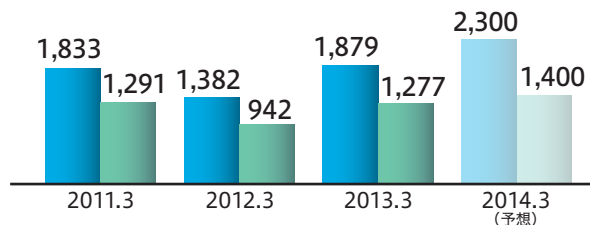
経常利益 当期純利益

18億79百万円

12億77百万円

(百万円)

■ 経常利益 ■ 当期純利益
■ 通期 ■ 予想

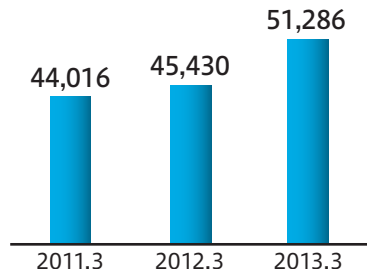


総資産

512億86百万円

(百万円)

■ 通期

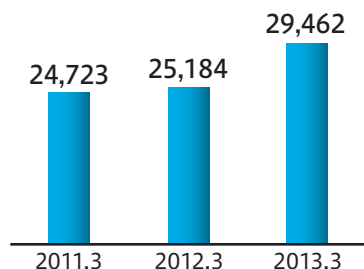


純資産

294億62百万円

(百万円)

■ 通期

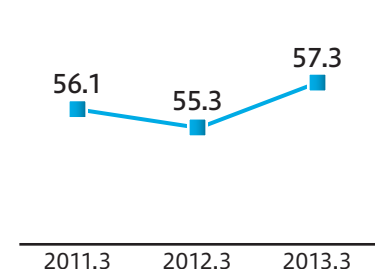


自己資本比率

57.3%

(%)

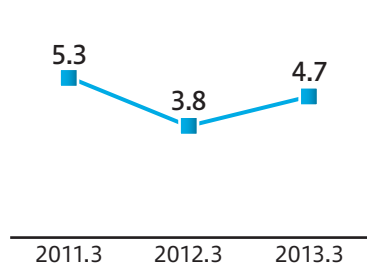
■ 通期



自己資本当期純利益率(ROE) 4.7%

(%)

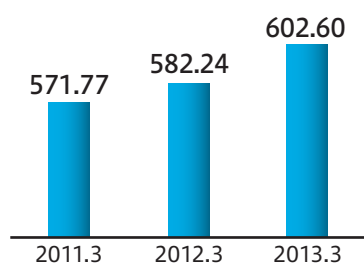
■ 通期



1株当たり純資産 602円60銭

(円)

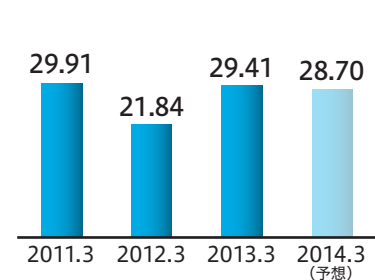
■ 通期



1株当たり当期純利益 29円41銭

(円)

■ 通期 ■ 予想



【見通しに関する注意事項】 上記予想は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

株主・投資家の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに、当社第48期(2012年4月1日から2013年3月31日まで)のJMS NOTESをお届けいたしますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

当社グループの業績につきましては、国内においては、医療の安全に貢献する輸液輸血関連製品の販売や透析関連製品である人工腎臓用血液回路の販売が引き続き伸長しました。海外においては、成分献血用回路や血液バッグ等の輸液輸血関連製品の販売が好調に推移しました。

この結果、連結売上高は490億68百万円(前連結会計年度比4.8%増)となりました。

利益につきましては、国策により海外生産工場の労務費が高騰したことや国内外での価格競争が激化したものの、増収による利益拡大に加え、積極的な省力化への取り組み等により、経常利益は18億79百万円(前連結会計年度比36.0%増)となりました。また、当期純利益は12億77百万円(前連結会計年度比35.5%増)となりました。

期末配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、1株につき4円とさせていただきます。これにより、年間配当金は中間配当金(1株につき4円)と合わせまして、1株につき8円となります。

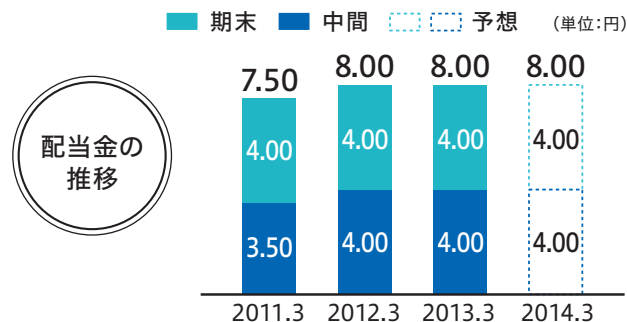
さて、当社は、国内外における生産能力増強のための設備投資資金を確保するとともに、自己資本を拡

充することで将来の事業展開並びに成長機会に適時かつ機動的に対応できる財務基盤を確立し、また投資余力を拡大することを目的に、本年2月、公募増資を実施いたしました。

その詳細につきましては後のページにてご説明申し上げますが、これまで培ってまいりました製品力、技術力を活かすとともに、生産効率の向上と技術革新にグループ全体で継続的に取り組み、医療の安全と効率化に貢献できる製品を提供することによって、引き続き人と社会に貢献してまいりたいと存じます。

株主の皆様には、今後とも格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2013年6月



代表取締役社長
奥窪 宏章

》》》 所在地別

日本

売上高 **397億58百万円**

(外部顧客への売上高 353億73百万円)



2012.3 2013.3

「プラネクタ」付輸液セットや延長チューブ、人工腎臓用血液回路の販売が好調に推移しました。

セグメント利益 **14億18百万円**



2012.3 2013.3

増収効果により増加しました。

東南アジア

売上高 **144億97百万円**

(外部顧客への売上高 67億70百万円)



2012.3 2013.3

北米向け成分献血用回路や東南アジア向け血液バッグの他、日本向け人工腎臓用血液回路の販売が好調に推移しました。

セグメント利益 **66百万円**



2012.3 2013.3

労務費の上昇により減少しました。

中国

売上高 **31億86百万円**

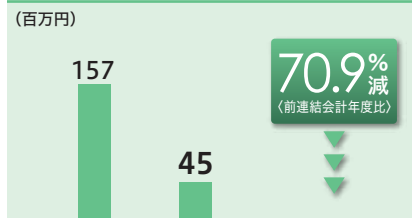
(外部顧客への売上高 10億6百万円)



2012.3 2013.3

北米向け及び中国国内向けのAVF針(血液透析用針)の販売が拡大しました。

セグメント利益 **45百万円**



2012.3 2013.3

材料費及び労務費の上昇により減少しました。

製品紹介

■ ニードルレスアクセスポート「プラネクタ」付輸液セット

注射針のない注射筒での接続を可能にした「プラネクタ」を備えた輸液セットです。より安全・安心な医療環境の実現をサポートしています。



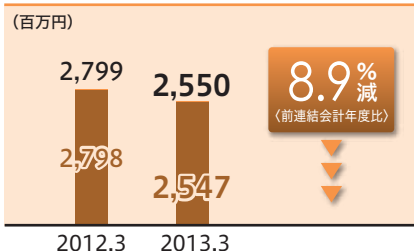
■ 輸液ポンプ「OT-800」シリーズ

薬剤を一定量、一定速度で投与する際に使用される医療機器です。輸液セットと共に使用されます。



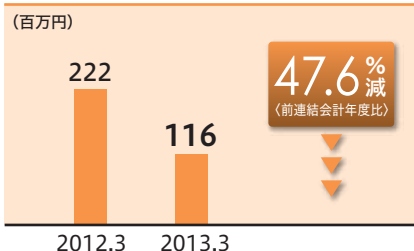
ドイツ

売上高 **25億50百万円**
(外部顧客への売上高 25億47百万円)



ドイツ国内向けのAVF針の販売が堅調に推移したものの、透析用チェアーの販売が減少しました。

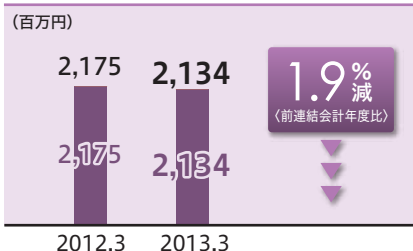
セグメント利益 **1億16百万円**



ユーロ安に伴う仕入価格の上昇により減少しました。

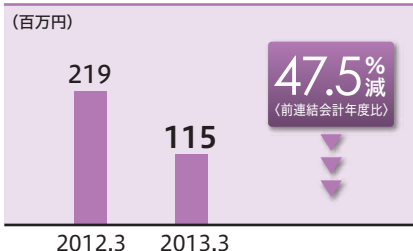
アメリカ

売上高 **21億34百万円**
(外部顧客への売上高 21億34百万円)



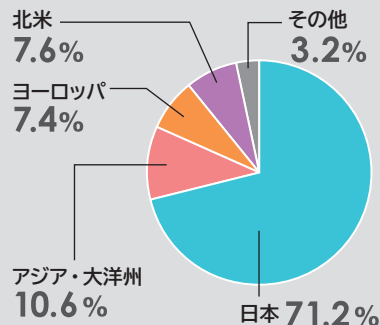
北米向けの誤穿刺防止機構付翼状針の販売が増加したものの、AVF針の販売が減少しました。

セグメント利益 **1億15百万円**

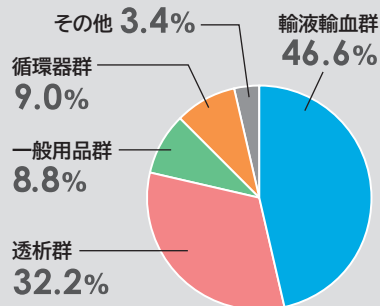


市場価格の低下により減少しました。

地域別売上高構成比



システム別売上高構成比



輸液輸血群

輸液セット、経腸栄養システム製品、輸液ポンプ、成分献血用回路、シリンジ(注射筒)、注射針 他

透析群

血液透析装置、人工腎臓用血液回路、AVF針、プレフィルドシリンジ製剤、腹膜透析液 他

一般用品群

医療用手袋、不織布製品 他

循環器群

膜型人工肺、ペースメーカー、人工心臓装置、人工心臓回路、血管造影用・治療用カテーテル 他

■ プレフィルドシリンジ製剤「ヘパフィルド」

薬剤があらかじめ充填されたシリンジ(注射筒)です。薬剤をシリンジに移し換える操作が不要なため、細菌汚染や異物混入リスクの低減及び、薬剤の誤投与を防止します。



■ 膜型人工肺「オキシア」

心臓手術の際に、患者様の肺の働きを代行し血液のガス交換(酸素付与と二酸化炭素の除去)を行う医療機器です。



公 募 増 資

「患者様第一主義」の実践に向けて事業基盤を強化

当社は、おかげさまで2015年に創業50周年を迎えます。この50年の間、当社は患者様と医療従事者の皆様に役立つ製品とサービスを提供して社会からの信頼と期待にお応えしてきました。

そうした実績をベースに、企業としての足腰をさらに強化し「患者様第一主義」に根ざした事業をグローバルに展開していくべく、本年2月に増資（公募及び第三者割当による新株発行）を実施しました。

「患者様第一主義」に根ざした事業展開

■ JMSブランディングコンテンツ



■ 事業内容

当社は、日本でいち早く開発製造に成功した安全で機能的なディスポーザブル[※]の技術を基盤に、総合医療機器メーカーとして輸液輸血、透析、循環器を軸に多岐にわたる領域で活躍しています。

※ディスポーザブル：一般的に医療の分野では「既に滅菌されており、そのまま直ちに使用でき、かつ1回限りの使用で使いきるもの」という意味。

■ 経営環境

国内外の厳しい経済情勢や少子高齢化などを背景に、医療費の抑制や医療機関の経営効率化が求められているほか、現地及び各国メーカーの競争が激化しています。その一方で、国内外の医療機器市場では、医療技術の高度化と発展著しい新興国における需要拡大の影響から、新たな事業機会も現れつつあります。

■ 取り組み

医療の安全と効率化に貢献するために、生産効率の向上と技術革新に資源を適切に投入し、地域の医療ニーズに合った医療機器を提供することで社会に貢献してまいります。加えて、国際市場をターゲットに「最適地生産」を掲げ、グループ資本財の効率的活用による収益率向上、健全経営を確立してまいります。

増資の概要とその目的

■ 公募及び第三者割当による新株発行の概要

実施形態	公募増資及び、第三者割当増資
実施総額	17億77百万円
新規発行株式数	5,622,000株（合計） ●一般投資家（個人／機関投資家）向け…………… 5,060,000株 ●第三者割当（株式会社社力ネカ）…………… 562,000株
ローンチ日	2013年2月21日（木）（終値：335円）
資本金	増資前 65億22百万円 ▶▶▶▶▶ 増資後 74億11百万円 ※資本金組入：総額の半分
発行済株式数	増資前 43,844,932株 ▶▶▶▶▶ 増資後 49,466,932株

■ 増資の目的

日本国内における電子線滅菌設備の導入に加えて、東南アジアにおける生産能力の増強に当たっての設備投資資金を確保します。さらに、自己資本を拡充することで将来の事業展開並びに成長機会に適時かつ機動的に対応できる財務基盤の確立及び投資余力の拡大を図ります。

■ 主な資金使途

千代田工場 電子線滅菌工場棟

滅菌工程の生産性アップ及び、在庫削減による経営効率と顧客満足の向上を目的としています。2014年3月に稼働予定です。



電子線滅菌工場完成予想図

JMSバタム

生産能力増強のための設備投資を目的としています。主な生産品目は、人工腎臓用血液回路、AVF針、誤穿刺防止機構付き翼状針です。



交換用胃ろうカテーテル キット

「ジェイフィード ペグロック」販売開始

当社は、2013年5月より、胃ろうカテーテルを施した患者様のための交換用カテーテル キット「ジェイフィード ペグロック」の販売を開始しました。

▶ 経腸栄養療法のためのサポートキット

経腸栄養療法では、飲食物を口から摂取できない、あるいは摂取しにくい患者様の腹部に手術で小さな穴（胃ろう）を開け、その穴から胃内部に胃ろうカテーテルを挿入し留置する施術（PEG/ペグ^{※1}）があります。胃ろうカテーテルを留置した患者様は、胃ろうカテーテルを通じて体外から水分や栄養材、薬剤などを注入し、体調管理や医療的処置が行われています。

胃ろうカテーテルなどは、感染防止などの安全性を維持するため定期的に交換する必要がありますが、今回ご紹介する「ジェイフィード ペグロック」はそのためのキットです。

※1 経皮的内視鏡下胃ろう造設術。

▶ 医療現場での使いやすさを実現するキット

「ジェイフィード ペグロック」は、胃内部に留置する胃ろうカテーテル、栄養ラインに接続する延長チューブ、胃ろうカテーテルに生理食塩水を注入する注入器で構成されています。必要な機器を一つのキットにすることで、使いやすさと医師や看護師の皆様の作業効率の向上を実現します。

▶ 安全・安心な栄養療法を実現するキット

これまで医療現場では、経腸栄養システムの接続部分で生じるゆるみの問題が指摘されてきました。接続部分がゆるんだり、栄養チューブが外れて脱落すると、栄養材や薬液が漏れ出し感染の原因になりかねません。そこで、胃ろうカテーテルや「ペグアシスタ」などと栄養ラインとの接続部分に、取り付けやすくゆるみにくい安全ロック機構「Q-LOCK」を採用。これにより、安全・安心な経腸栄養システムが提供でき、患者様のQOL^{※2}の向上が期待されます。

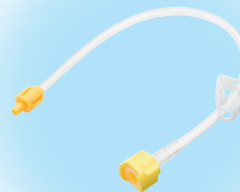
※2 QOL: QUALITY OF LIFE(生活の質)



交換用胃ろうカテーテル キット「ジェイフィード ペグロック」



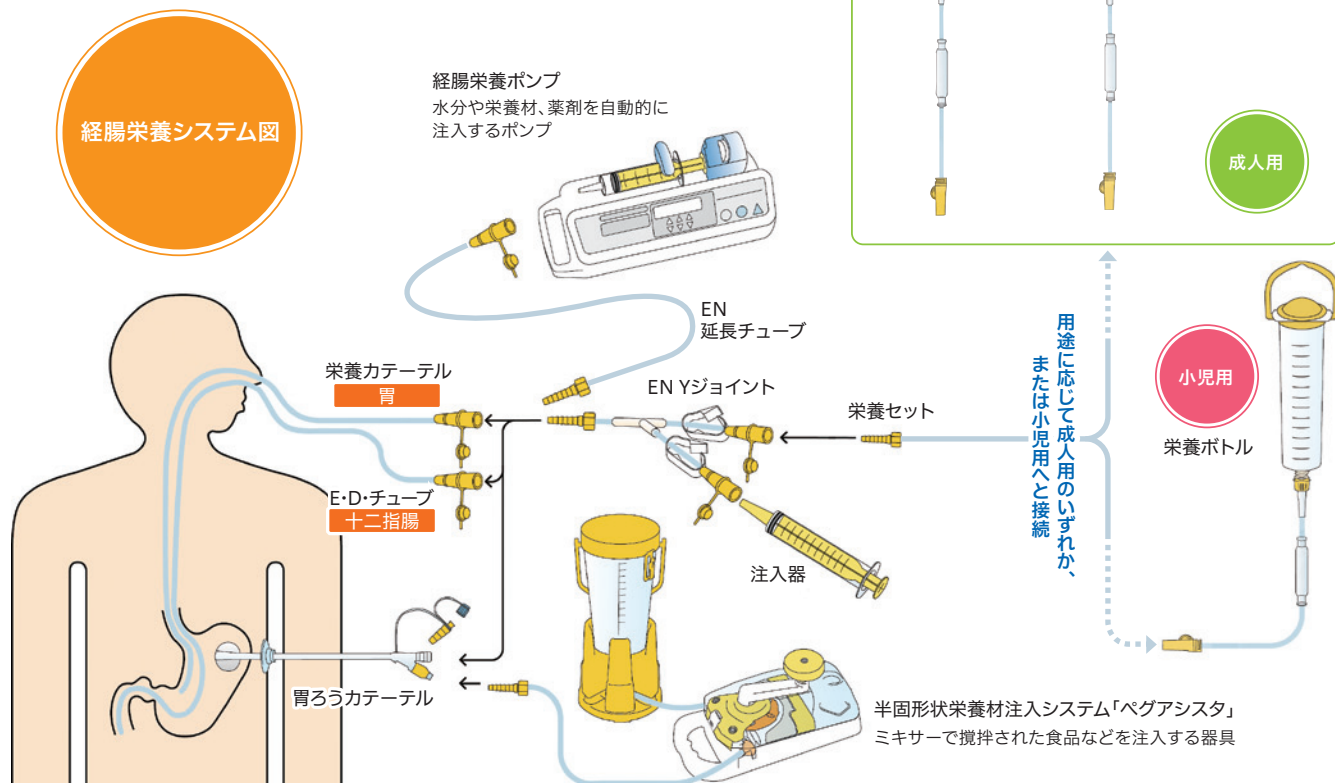
シリコーン製 胃ろうカテーテル
(バルーンボタンタイプ)



延長チューブ

▶ 経腸栄養システムを支える多様なラインナップ

経腸栄養システムは、栄養ボトルから胃ろうカテーテルに至るまで、患者様の症状や療養環境に応じてさまざまに組み合わせて構成されます。JMSの経腸栄養システムでは、「ジェイフィード ベグロック」をはじめ、トータルシステムとしてのラインナップがあり、小児領域から成人領域まで幅広い規格を取り揃えております。



明日につながる事業を展開し、医療に貢献していきます。

▶ 新たに「ME事業部」を設置

ME機器（医療用電子機器）の開発から保守サービスまでを一元的に管理・運営する機能を強化し、当社の成長戦略に沿ったME事業の展開を統括する「ME事業部」を設置しました。

▶ 営業拠点の再編を行い、北関東支店を開設

本年4月1日付で北関東営業所を昇格させ北関東支店として開設しました。当支店の管轄エリアは北関東、新潟、長野の各地区。これを機に管轄エリアの市場の規模・成長に合わせ、より地域に密着したサービスの向上を図ってまいります。

▶ 韓国市場に「ZEROシステム®」を海外初投入

当社では、韓国の保寧（ボリョン）製薬株式会社を通じて、韓国市場に腹膜透析接続システム「ZEROシステム®」を導入。同製品は、外部の空気に触れにくく感染防止に優れた機能を有しており、韓国の腹膜透析患者様にとってもより安全な医療につながることから今回の採用となりました。

今後も同社との連携を深めつつ、国際戦略を推進していく上での足がかりとして取り組みを強化してまいります。



腹膜透析とは

臓器を覆っている腹膜には浸出、漏出、吸収、分泌などの生理作用があり、患者様自身の腹膜を活用して透析を行う療法です。

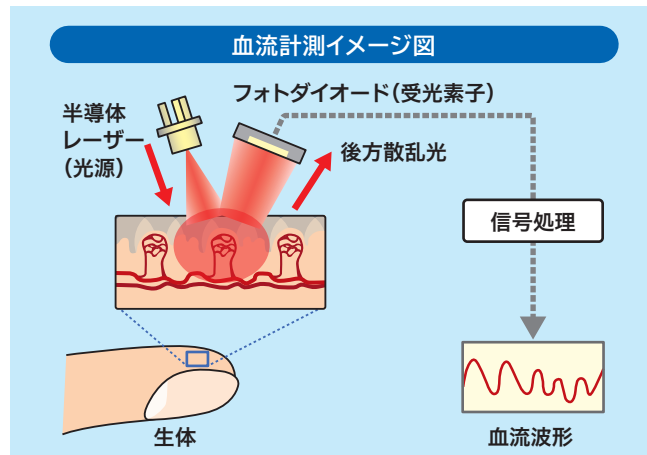


「ZEROシステム®」
※写真は日本国内仕様の製品です。

▶ パイオニア株式会社と「医療用レーザー血流計」の開発委託契約を締結

当社は、独自のレーザー技術を保有するパイオニア株式会社と「医療用レーザー血流計」の開発委託契約を締結しました。「医療用レーザー血流計」は、皮膚の上から皮膚毛細血管に向けてレーザー光を照射して、血流や血流変化を連続計測する機器です。

人の体への負担がより少ない機器の製品化を進めてまいります。



パイオニア株式会社報道資料より引用

▶ 出雲工場が「中国経済産業局長表彰」を受賞

本年2月15日、中国経済産業局主催の平成24年度中国地区「省エネルギー月間」表彰式において、出雲工場の省エネ対応実績が認められ、昨年度の三次工場に続き、エネルギー管理優良事業者として「中国経済産業局長表彰」を受賞しました。

これからも、エネルギーを効率よく使用するための施策を講じ、全社的な省エネ活動を継続してまいります。



表彰式の様子

▶ 地域の産学官連携事業をサポートしています

当社は、地域の医療機器産業やものづくり産業の活性化に向けた産学官連携の取り組みに積極的に参画しています。教育機関と連携してインターンシップを実施するなど、将来に向けて実践力を備えた人材の育成や、地域産業のレベル向上をサポートしています。

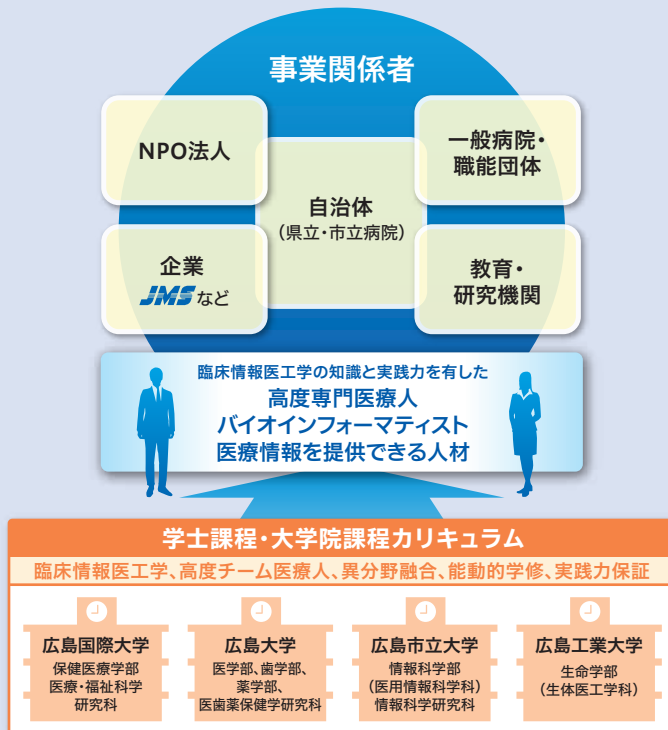
文部科学省 平成24年度 「大学間連携共同教育推進事業」

文部科学省が、国公私立の枠組みを超えて大学間が連携して行う取り組みを選定し、財政的に支援する事業。広島地区では広島大学、広島市立大学、広島工業大学、広島国際大学の4大学が、医療系・情報系・工学系の異分野を融合した新しい学問領域である「臨床情報医工学」の確立をめざしています。

医療と情報技術を統合して、安全・安心と豊かな医療情報を提供できる人材、「臨床情報医工学」の知識と実践力を保証された高度専門医療人などの育成をめざしており、当社もその一翼を担っています。

◎文部科学省 平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」

臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成



参照：臨床情報医工学HP（連携取組概要図）

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前連結 会計年度 2012年3月31日現在	当連結 会計年度 2013年3月31日現在
《資産の部》		
流動資産 —①	28,564	31,044
現金及び預金	3,474	4,153
受取手形及び売掛金	14,991	15,026
たな卸資産	9,224	10,759
その他	874	1,104
固定資産 —②	16,865	20,241
有形固定資産	13,076	16,029
無形固定資産	708	734
投資その他の資産	3,080	3,477
資産合計	45,430	51,286

(単位:百万円)

科 目	前連結 会計年度 2012年3月31日現在	当連結 会計年度 2013年3月31日現在
《負債の部》		
流動負債	16,466	17,886
固定負債	3,779	3,936
負債合計	20,245	21,823
《純資産の部》		
株主資本	27,481	30,189
その他の包括利益累計額	△2,353	△798
少数株主持分	56	71
純資産合計	25,184	29,462
負債純資産合計	45,430	51,286

■ 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(2012年4月1日～2013年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	6,522	9,473	11,755	△270	27,481	31	△2,385	△2,353	56	25,184
当期変動額										
新株の発行 —③	888	888			1,777					1,777
剰余金の配当			△345		△345					△345
当期純利益			1,277		1,277					1,277
自己株式の取得				△1	△1					△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						254	1,300	1,554	14	1,569
当期変動額合計	888	888	932	△1	2,708	254	1,300	1,554	14	4,277
当期末残高	7,411	10,362	12,687	△271	30,189	286	△1,084	△798	71	29,462

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前連結 会計年度 2011年4月1日～ 2012年3月31日	当連結 会計年度 2012年4月1日～ 2013年3月31日
売上高 4	46,836	49,068
売上原価	34,096	35,630
売上総利益	12,739	13,438
販売費及び一般管理費	11,687	11,844
営業利益 5	1,052	1,594
営業外収益	478	462
営業外費用	147	177
経常利益	1,382	1,879
特別利益	6	4
特別損失	88	54
税金等調整前当期純利益	1,299	1,829
法人税等	344	548
少数株主損益調整前当期純利益	955	1,281
少数株主利益	12	3
当期純利益	942	1,277

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前連結 会計年度 2011年4月1日～ 2012年3月31日	当連結 会計年度 2012年4月1日～ 2013年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー 6	1,754	2,545
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,605	△3,340
財務活動によるキャッシュ・フロー	△431	1,262
現金及び現金同等物に係る換算差額	△70	215
現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	△1,352	683
現金及び現金同等物の期首残高	4,820	3,468
現金及び現金同等物の期末残高	3,468	4,152

POINT 解説

- 1 流動資産**（前連結会計年度に比べ24億79百万円増加）
・棚卸資産が増加しました。
- 2 固定資産**（前連結会計年度に比べ33億76百万円増加）
・有形固定資産の取得により増加しました。
- 3 新株の発行**
・公募及び第三者割当による新株の発行を行いました。
- 4 売上高**（前連結会計年度に比べ22億32百万円増加）
・地域別では日本及び東南アジアでの販売、システム別では輸液輸血群の販売が増加しました。
- 5 営業利益**（前連結会計年度に比べ5億42百万円増加）
・増収による利益増加が海外生産工場における労務費の増加や国内外での価格競争の影響などを吸収しました。
- 6 営業活動によるキャッシュ・フロー**
（前連結会計年度に比べ7億90百万円増加）
・主に売上債権の回収によるものです。

(注)金額につきましては、百万円未満を切り捨てて記載しております。

会社概要

■当社の概要

(2013年3月31日現在)

設立	1965年(昭和40年)6月12日
資本金	7,411,014,445円
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード: 7702)
主要な事業内容	医療機器、医薬品の製造・販売 及び輸出並びに輸入
従業員数	1,565人 (グループ総数 5,698人)

■役員

(2013年6月25日現在)

代表取締役社長	奥村 達宏	監査役	早稲田 幸雄
専務取締役	窪上 克宏	査役	池村 和朗
取締役	国富 純	役員	内藤 雅彰
取締役	泉森 和雄	役員	藤井 彰博
取締役	森川 重美	役員	藤井 博一
取締役	栗根 康浩	役員	中西 義彦
取締役	佐藤 雅文	役員	岩田 実
取締役	桂 龍司	役員	近藤 良夫
取締役	井口 明彦	役員	遠藤 正樹
監査役(常勤)	井口 昇		
監査役	林 原 康		

※井口明彦氏は、社外取締役であります。※林原康三氏、早稲田幸雄氏、池村和朗氏は、社外監査役であります。

株式概要

(2013年3月31日現在)

■発行可能株式総数…100,000,000株

■発行済株式総数……49,466,932株
(自己株式 693,451株を含む)

■株主数 …………… 6,334名

■大株主の状況(上位10名) (注)持株比率は、自己株式(693,451株)を控除して計算しております。

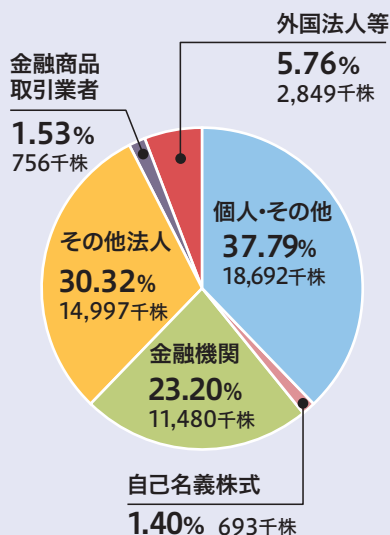
【株主名】

【持株数(千株)】 【持株比率(%)】

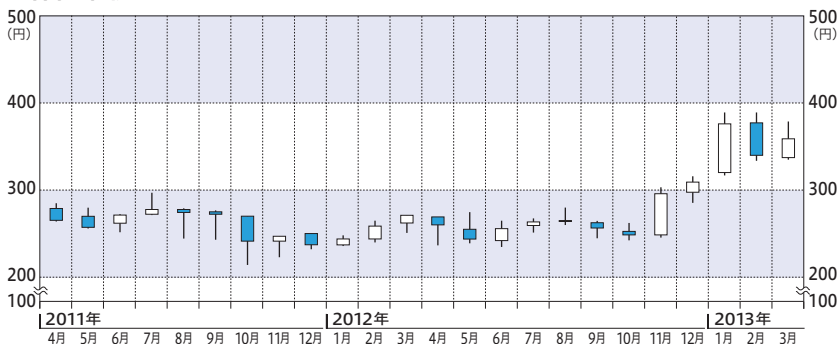
株式会社力ネカ	4,947	10.14
財団法人土谷記念医学振興基金	3,800	7.79
土谷佐枝子	2,015	4.13
社会福祉法人千寿会	2,000	4.10
株式会社広島銀行	1,790	3.67
第一生命保険株式会社	1,722	3.53
大下産業株式会社	1,142	2.34
JMS共栄会	878	1.80
西川ゴム工業株式会社	760	1.56
株式会社もみじ銀行	732	1.50

財団法人土谷記念医学振興基金は、2013年4月1日付で一般財団法人に移行されております。

所有者別分布状況



■株価推移



グローバル展開を推進するために、生産拠点・販売拠点を各地域に設置し、事業活動を行っています。

海外ネットワーク

子会社

- ① 株式会社 韓国メディカル・サプライ
医療機器の製造・販売
- ② ジェイ・エム・エス・シンガポールPTE. LTD.
医療機器・医薬品の製造・販売
<http://www.jmss.com.sg/>
- ③ 大連ジェイ・エム・エス医療器具 有限公司
医療機器の製造・販売
<http://www.jmsdl.com/>
- ④ ジェイ・エム・エス・ノース・アメリカ・コーポレーション
医療機器の販売
<http://www.jmsna.net/>
- ⑤ バイオニック・メディツインテックGmbH
医療機器・医薬品の販売
<http://www.bionic-jms.com/>
- ⑥ PT. ジェイ・エム・エス・バタム
医療機器の製造



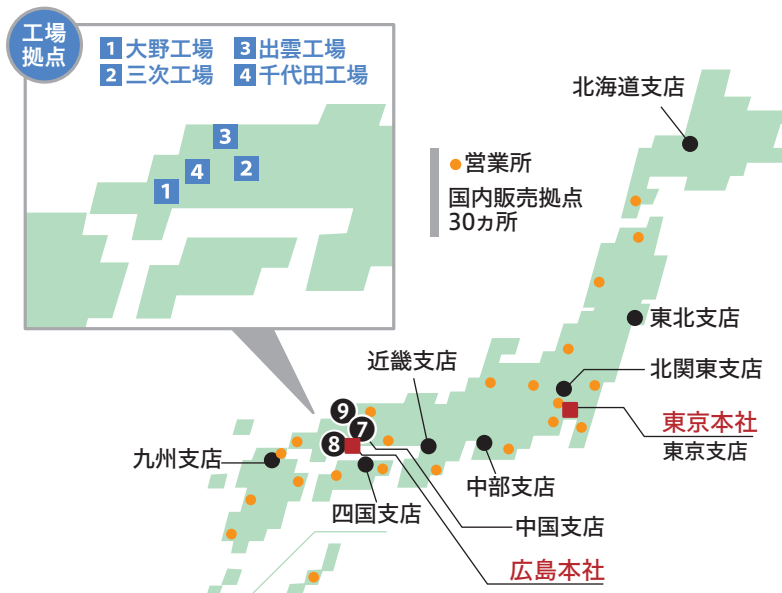
国内ネットワーク

子会社

- ⑦ ジェイ・エム・エス・サービス 株式会社
医療機器の修理等
- ⑧ 株式会社 大野
業務請負業

関連会社

- ⑨ 株式会社 ジェイ・オー・ファーマ
医薬品の製造・販売
<http://www.jo-pharma.co.jp/>



株主メモ 証券コード: 7702

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
Tel.0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

公告の方法 電子公告とする。
(<http://www.jms.cc/ir/denshi.html>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることができない
場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

ご注意

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



JMS WEBサイトのご案内

当社の経営方針から主な製品、研究開発、IR、腹膜透析等の医療情報まで、多彩な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

▶▶▶ <http://www.jms.cc/> 株式会社JMS 検索



株式会社 JMS

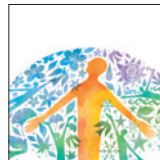
広島本社 〒730-8652 広島市中区加古町12番17号
TEL 082-243-5844 FAX 082-243-5997

東京本社 〒140-0013 東京都品川区南大井一丁目13番5号 新南大井ビル
TEL 03-6404-0600 FAX 03-6404-0610

ホームページ <http://www.jms.cc/>

【表紙デザイン】

テーマ「365日、人々の健康を願う。」



さまざまなモチーフで構成された球体は地球のようであり、グローバルに展開するJMSの企業スケールをイメージ。春、夏、秋、冬の四季のモチーフは、365日、常に人々の健康を願う企業姿勢を表現。

UD FONT
見やすいユニバーサルフォントを採用しています。